

東日本の民間信仰

―出羽三山の石造物造立をめぐる―

第二報

石造物から見た出羽三山信仰の地域的展開

キーワード 出羽三山信仰 石造物 東日本 茨城県 埼玉県

西 海 賢 二
早 川 典 江¹

第一報では、出羽三山信仰の岩手県、宮城県、秋田県における調査結果を分析したが、本報ではあとの茨城県・埼玉県についての調査報告を行う。【表一―四〇五参照】

この表一は、収集した出羽三山塔のデータを、県別で造立年代順に並び替え、さらに出羽三山（湯殿山・月山・羽黒山）の並び方の変遷がわかるように分類記号を加えたものである。表から、三山の刻まれ方が年代によって変わっていったことが読み取れる。

各県別で見ると、岩手県においては、胆沢町南都田の安永（一七七三）年「奉真行湯殿三山供養塔」を初出として、花巻市新田の明治三（一八七〇）年「湯殿三山」の明治初年にかけて、湯殿山が中心になるAタイプが大半を占め、Bタイプ、Cタイプは少ない。それが、明治一六（一八八三）年頃から、月山を中心とするBタイプが増大し、A・Bタイプが同数程度出て来るようになる。

宮城県では、明治初年までは湯殿山のAタイプが中心であり、その

他のBやCのタイプは少ない。その後、明治二八（一八九五）年から、急激に月山を中心に置いたBタイプが増え、Aと立場が逆転している。続いて、出羽三山信仰が江戸時代の初頭から展開していったことが確認されている関東の茨城県では、東北二県と同様に、明野町の正保四（一六四七）年「湯殿山供養塔」のようなAタイプが大半を占める。Bタイプが増え始めるのは明治三三（一九〇〇）年頃である。埼玉県では、四一基とデータが少ないものの、Bタイプが増え始めるのは明治二六（一八九三）年頃である。

二 併刻塔に見る地域的格差

次に、出羽三山と共に刻まれたほかの信仰についてみてみよう。これに関連して、近世交通史の山本光正氏は、地蔵や庚申信仰などに共に刻まれている道標を「併用道標」という名称で紹介しているが、ここでは道標に限定せず、むしろ信仰の面に重点を置くため、便宜上「併刻塔」と名付ける。

前掲した表一において「併刻」の欄に○印を付けたもの、ここである併刻塔のみを摘出したものが表二である。【表二―一〇五参照】

併刻塔は、秋田県を除く全ての県において、収集数の二割から七割を占めていた。

表三は、今回摘出した各県別の出羽三山塔の造立数とそれに占める併刻塔の割合を表にしたものである。ただし、岩手県に限っては、全体の出羽三山塔が五二五基、併刻塔が一〇四基で、その割合は二十％となるが、ここでは旧藩による違いを見るため分けて集計した。

【表三参照】

この併刻塔は、県別・地域別ではつきりと違いを見出すことが出来る。

併刻されている信仰をみると、北は青森県の岩木山、南は三重県の伊勢神宮、和歌山県の高野山・四国八十八ヶ所などに至るまで、その範囲は東北から四国に至るほぼ全国の霊山・霊場・札所寺院などが散見している。【表四参照】

次に併刻塔を東北・関東に分けて見ると、東北地方では、岩木山・岩手山・早池峰山・金華山・蔵王山・鳥海山など出羽三山に比較的近い東北の山々および金比羅宮・庚申塔・二十三夜塔が主である。

関東地方では、坂東三十三ヶ所・秩父三十四ヶ所、四国八十八ヶ所などの札所（巡礼）、さらに関東から中部・北陸・近畿に至る、どちらかと言うと南に位置する霊山が刻まれている。

二つの地域を比較すると、東北では金比羅宮以外、ほぼ地元の霊山

であるのに対して、関東では、東北の霊山は金華山・塩竈神社という宮城県のみで、他は全て西日本の霊場であるという大きな地域格差が見られた。

また、関東では約九割の併刻塔に巡礼が刻まれているのに対して、東北ではただ一基、岩手県金ヶ崎町上永沢の一八二五年造立のもの（表二―二参照）に「西国三十三ヶ所」と見えるだけなのも大きな違いである。

以上のように、出羽三山と共に刻まれている信仰には、東北と関東で大きな地域差が見られた。この違いの原因はどこにあるのだろうか。一つは、その霊場までの「距離」が関係している。また、東北の山々（霊場）は、その信仰が地域のみで行われ、全国に拡大しなかったことも要因の一つであろう。いふなれば山岳の信仰圏の問題が背景にあることが確認される。

ところがここで一つの疑問として挙げられるのが、何故関東地方の出羽三山塔に西国三十三ヶ所・四国八十八ヶ所などの巡礼が多く刻まれたのかという点である。出羽三山とは逆方向かつ遠距離であり、さらに、参詣という直線的な行為と巡礼という円形的な行為がどうして同じ石造物に刻まれたのか。

確かに、西国や四国は東北から見れば遠隔地であったことは間違いない。例えば近世中期の岩手県一関市から西国巡礼をする場合、かかる日数は往復で約三ヶ月であり、気楽に行って帰れる距離ではない。しかし、東北地方では比較的数量の少ない廻国供養塔（六十六部供養塔）との併刻に関しては、距離だけでなく、その地域ごとの信仰形態が大きく関係していたことが想起される。

また、出羽三山塔の造立には、特に南関東（常陸地方中心）では、塚との関連性を見出すことも出来る。

特に、近世初頭（とくに寛永年間）に出羽三山信仰に関連して造立された石造物や塚の築かれ方との問題とも関連するものである。この点については歴史民俗資料学の立場から「近世村落の成立事情を考察する必要、特に村の境界性などの視点からも見直す必要がある」という⁽³⁾。その結果、岩手県、宮城県、秋田県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県で一四三一基の出羽三山塔を確認することができた。第一報・第二報では「収集した出羽三山塔のデータ」のうち、岩手県宮城県、秋田県、茨城県、埼玉県の調査報告の分析をすることができた。千葉県、東京都、神奈川県については次の機会に報告する予定である。

註

(1) 山本光正「近世及び近現代における道標の成立と展開」国立歴史民俗博物館（『国立歴史民俗博物館研究』三三集）一九九一年三月

(2) 千葉明夫「西国巡礼記」（県南史談会編『平成六年度研究紀要二四集』一九九五年）に、寛保元（一七四一）年五月十五日に仙台藩領増沢村（現・岩手県藤沢町増沢）から出発し、仙台を通り江戸を経由して西国巡礼を行った後、信濃善光寺に参詣して八月十八日に帰宅する、九十三日間の旅であったことが紹介されている。

(3) 西海賢二「新しい段階に入った大日研究」（湯殿大日信仰と天道念仏）シンポジウム 於土浦市立博物館）

徳原聰行編『常陸・寛永期の大日石仏』所収 筑波書林

二〇〇三年三月

【表1-4】茨城県

地区名	碑 銘	建立年月日	西暦	並び方	併刻	規格(高×幅×厚)	所在地	出典
茨木町 上飯沼	湯殿山供養塔	正保四年	1647	A				『明野町史』
岡和田	湯殿山大権現	安政九庚子天九月廿日	1780	A			薬師堂	「鹿島町の石造遺物」
稲戸井	月山 湯殿山大願成就所 羽黒山	寛政八丙辰三月大吉	1796	A1			共同墓地	『取手市史 石造遺物編』
井野	月山 湯殿山 供養塔 羽黒山	享和三亥十一月吉日立之	1803	A1			本泉寺	『取手市史 石造遺物編』
烏崎	湯殿山	文化四丁卯天	1807	A			津神社	「鹿島町の石造遺物」
岡和田	湯殿山	文化六甲子	1809	A			薬師堂	「鹿島町の石造遺物」
上板窪	湯殿山	文化八辛未五月初八日	1811	A				「鹿島町の石造遺物」
取手	月山 湯殿山 羽黒山	文化九年八月	1812	A1			不動堂	『取手市史 石造遺物編』
浮田	湯殿山	文化癸酉十天	1813	A			観音堂	「鹿島町の石造遺物」
取手	月山 湯殿山 羽黒山	文化十一年	1814	A1			愛宕神社	『取手市史 石造遺物編』
角川原	湯殿山	文化十四丁丑天二月吉日	1817	A			八坂神社	「鹿島町の石造遺物」
小池	湯殿山	文化十四丁丑天四月吉祥日	1817	A			明神社	「鹿島町の石造遺物」
台田中	湯殿山	文政元戊寅年十一月吉祥日	1818	A			三日月不動堂	「鹿島町の石造遺物」
江垂	湯殿山	文政二己卯十一月吉日	1819	A			日吉神社	「鹿島町の石造遺物」
塩崎	湯殿山	文政二己卯十二月吉辰日	1819	A				「鹿島町の石造遺物」
田木谷	月山 湯殿山四国西国秩父坂東供養塔	文政二己卯年七月日	1819	A1	○	120×45×45	田木谷字吉野道路脇	『玉里村の石仏たち』
烏崎	湯殿山	文政四辛巳三月吉日	1821	A			津神社	「鹿島町の石造遺物」
井野	月山 湯殿山 大権現 羽黒山	文政四辛巳年九月吉日	1821	A1			屋敷集会所	『取手市史 石造遺物編』
横手	湯殿山	文政九丙戌天十一月八日	1826	A			初発神社	「鹿島町の石造遺物」
南屋形	湯殿山	文政十年丁亥二月吉祥日	1827	A			阿弥陀寺	「鹿島町の石造遺物」
南海老	湯殿山	文政十二己丑天	1829	A			金砂神社	「鹿島町の石造遺物」
井野	月山 湯殿山 大権現 羽黒山	天保二年十月	1831	A1			加茂神社	『取手市史 石造遺物編』
牛伏	月山 湯殿山 羽黒山	天保十三年十一月吉日	1842	A1			個人宅	『内原町史 民俗編』
寺原	月山 秩父 普門品 湯殿山 西国 羽黒山 坂東 百万遍	嘉永二年霜月吉日	1849	A1	○		金山神社	『取手市史 石造遺物編』
大和田	羽黒山 湯殿山 月山 三山供養塔	嘉永四亥年十一月吉日	1851	A2			大和田公民館	「伊奈の石仏・石塔—伊奈町金石文調査報告書」
井野	月山 秩父 湯殿山 巡拝塔 羽黒山 西国	嘉永四年二月	1851	A1	○		青柳東第一公民館	『取手市史 石造遺物編』
南海老	湯殿山 月山	嘉永五壬子天二月吉日	1852	A			金砂神社	「鹿島町の石造遺物」
御山	湯殿山	嘉永五壬子天三月吉日	1852	A			成神山下	「鹿島町の石造遺物」
稲戸井	月山 湯殿山西国秩父坂東供養塔 羽黒山	嘉永五年八月	1852	A1	○		神明神社	『取手市史 石造遺物編』
寺内	湯殿山	嘉永癸丑天	1853	A			観音堂	「鹿島町の石造遺物」
寺内	月山	嘉永六癸丑天七月吉日	1853	B			観音堂	「鹿島町の石造遺物」
浮田	湯殿山	嘉永七甲寅	1854	A			観音堂	「鹿島町の石造遺物」
内原	月山 湯殿山 羽黒山	安政五年	1858	A1			サンカメラ後	『内原町史 民俗編』
大内	湯殿山	安政五戊午天	1858	A				「鹿島町の石造遺物」
小池	湯殿山	安政五戊午正月八日	1858	A			明神社	「鹿島町の石造遺物」
町2区	湯殿山	安政六己未年八月吉日	1859	A			鹿島御子神社	「鹿島町の石造遺物」

取手	月山 西国 湯殿山 秩父 巡拝塔 羽黒山 坂東	元治元年九月	1864	A1	○		薬師堂	『取手市史 石造遺物編』
井野	湯殿山 西国 巡拝 月山 西国 供養塔 羽黒山 坂東 秩父	明治十年三月	1877	B1	○		平本家墓地	『取手市史 石造遺物編』
小池	湯殿山	明治廿三年八月	1890	A			薬師堂	「鹿島町の石造遺物」
白坂	湯殿山	明治二十六年七月吉日	1893	A				「鹿島町の石造遺物」
上平柳	湯殿山秩父三十四所 月山 西国三十三所供養塔	明治三十三年五月六日	1900	B1	○		路傍	「伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書」
寺原	月山 西国秩父坂東供養塔 羽黒山	明治三十六年十月	1903	A1	○		寺田成沖共同墓地	『取手市史 石造遺物編』
取手	月山 秩父 湯殿山 西国 供養塔 羽黒山 坂東 西国八十八ヶ所	明治四十年九月	1907	A1	○		長禪寺	『取手市史 石造遺物編』
谷井田	湯殿山秩父 月山 西国百番供養塔 羽黒山坂東	明治四十一年旧九月八日	1908	B1	○		外記新田薬師堂・外記新田公民館	「伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書」
小山田	湯殿山 月山 羽黒山	明治四十二年旧八月八日	1909	B1			日光寺	「鹿島町の石造遺物」
稲戸井	月山 湯殿山 西国秩父坂東供養塔 羽黒山	大正二年三月十六日	1913	A1	○		龍禪寺	『取手市史 石造遺物編』
谷井田	(上部) 湯殿山 月山 出羽山 (下部) 西国八十八ヶ所 西国秩父坂東百番観世音巡拝記念	大正五年三月	1916	B1	○		個人宅	「伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書(下)」
小文間	羽黒山 秩父 泰巡拝 月山 西国 百番供養塔 湯殿山 坂東 八十八ヶ所	大正五年十一月吉日	1916	B2	○		共同墓地	『取手市史 石造遺物編』
稲戸井	国幣羽黒山神社 官幣月山神社 西国秩父坂東巡拝供養塔 国幣湯殿山神社	大正八年十月吉日	1919	B2	○		永蔵寺	『取手市史 石造遺物編』
北海老	湯殿山 月山 羽黒山	大正十一年六月吉日	1922	B1			公会堂	「鹿島町の石造遺物」
坂野上	湯殿山	(不詳)		A			白羽山道	『里美村史』
染谷	出羽神社 月山神社 湯殿山神社	明治三十三年十二月建		B2				『石岡市史 中巻Ⅱ』
町2区	月山			B			御子神社	「鹿島町の石造遺物」
町2区	羽黒山			C			御子神社	「鹿島町の石造遺物」
寺原	月山 秩父 湯殿山 西国 供養塔 羽黒山 坂東			A1	○		東漸寺	『取手市史 石造遺物編』
寺原	月山 湯殿山秩父坂東西国巡拝塔 羽黒山			A1	○		寺田成沖共同墓地	『取手市史 石造遺物編』

【表1-5】埼玉県

地区	碑 銘	建立年月日(年号)	西暦	並び方	併刻	規格(高さ×幅)	所在地・備考	出典
三ヶ島	月山 秩父三拾四番 湯殿山 西国三拾三番 羽黒山 坂東三拾三番	文化四丁卯年十月	1807	A1	○	98×36	稲荷神社裏	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
柳瀬	月山 湯殿山 羽黒山	文化十癸酉年十月吉日	1813	A1		109×30.5	日比田533	『所沢市石造物調査報告書3 柳瀬・松井の石造物』
吾妻	月山 湯殿山 百番供養塔 羽黒山	文化十二乙亥年十一月吉日	1815	A1		104×31	浅間神社南側	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
野田	西国坂東秩父百番霊場 湯殿山月山羽黒山供養塔	文政二龍集己卯孟夏穀旦	1819	A3	○			『入間市史 中世資料・金石文編』
柳瀬	月山 湯殿山供養塔 羽黒山	文政六癸未年十月吉日	1823	A1		90×28	十王堂	『所沢市石造物調査報告書3 柳瀬・松井の石造物』
三ヶ島	羽黒山 天下泰平 湯殿山 西国秩父坂東百番供養塔 月 山 日月清明	文政七甲申年四月吉祥日	1824	A2	○	85×30	東狭山ヶ丘六丁目718	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
山口	(正面) 百番供養 (左面) 月山 湯殿山 羽黒山	文政八乙酉季二月吉日	1825	A1	○	126×38	仏蔵院	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
南入曽	(右面) 西国 坂東 百番供養塔 秩父 (正面) 羽黒 湯殿山 三山供養塔 月山 (左面) 富士 浅間 三山供養塔 立山	文政十一戊子年吉祥日	1828	A1	○		金剛院	『狭山市史 民俗編』
山口	月山 天下泰平 湯殿山 供養塔 羽黒山 国土安全	文政十二己丑四月吉	1829	A1		60×29	天理教教会横	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
柳瀬	月山 湯殿山 大権現 羽黒山	天保二卯十一月吉日	1831	A1		70×29	東福寺門前	『所沢市石造物調査報告書3 柳瀬・松井の石造物』
上広瀬	湯殿山 西国 月 山 秩父 巡拝供養塔 羽黒山 坂東	天保二年龍舎辛卯春吉祥日	1831	B1	○		富士浅間	『狭山市史 民俗編』
高倉	天下泰平 湯殿三社 奉拝礼百番社 国土安全 神社仏閣	天保九年六月吉祥日	1838	A		67×27×18	高倉寺	『入間市史 中世資料・金石文編』
上広瀬	四国 月 山 西国 湯殿山 秩父 巡拝供養塔 羽黒山 坂東	天保十一庚子年孟春吉日	1840	A1	○		富士浅間	『狭山市史 民俗編』
入間川	(右面) 富士山浅間山戸隠御裏山立山 金光山筑波山 湯殿山月山羽黒山加納山登山記 (正面) 奉拝百番供養塔	天保十一庚子年二月吉日	1840	A3	○		慈眼寺	『狭山市史 民俗編』
柏原	月 山 秩父 供 湯殿山 西国 養 羽黒山 坂東 塔	天保十五甲辰年六月吉日	1844	A1	○		益田一利宅	『狭山市史 民俗編』
小谷田	天下泰平 月山 秩父 湯殿山 西国 光明真言百萬遍供養 羽黒 坂東 大山三十三度 国家安穩	弘化二乙巳年八月日	1845	A1	○	109×37×23	大橋西	『入間市史 中世資料・金石文編』
笠幡	月山 秩父 湯殿山 坂東 供養塔 羽黒山 西国	弘化三〇〇〇	1846	A1	○		三叉路	『川越の石佛』
高倉	羽黒山 湯殿山 百番供養塔 月山	弘化四龍次	1847	A2	○	69×26×18	長坂	『入間市史 中世資料・金石文編』
水野	月 山 西国坂東 湯殿山 百番供養塔 羽黒山 秩父	嘉永二酉年七月	1849	A1	○		橋本要作宅裏	『狭山市史 民俗編』
水野	四国八十八ヵ所 湯殿山月山羽黒山各供養塔 西国秩父坂東百番	嘉永四辛亥年二月	1851	A3	○		牛窪勝長宅	『狭山市史 民俗編』

堀兼	月山 湯殿山百番供養塔 羽黒山	嘉永七庚寅年正月吉日	1854	A1	○		堀兼神社	『狭山市史 民俗編』
山口	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 百ヶ所霊塔	安政二乙卯年十月吉祥日	1855	A1	○	174×42	仏蔵院門前	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
柳瀬	奉 三山大権現 献	安政七庚申二月吉日	1860	D		98×45	日比田533	『所沢市石造物調査報告書3 柳瀬・松井の石造物』
松井	月山 湯殿山大権現 羽黒山	萬延元庚申八月吉日	1860	A1		99×29.5	長源寺境内	『所沢市石造物調査報告書3 柳瀬・松井の石造物』
北入曾	天下泰平 奉 月山 西国坂東秩父百番 納 湯殿山 供養塔 経 羽黒山 新四国八十八番 五穀成就	文久二壬戌八月吉祥日	1862	A1	○		小川茂穂宅内	『狭山市史 民俗編』
寺竹	羽黒山 湯殿山 月山	元治元年申七月吉日	1864	A2		80×33×12		『入間市史 中世資料・金石文編』
三ヶ島	月山 秩父 湯殿山 立山 坂東百番供養塔 羽黒山 西国	元治二年旂蒙歲	1865	A1	○	122×29	東狭山ヶ丘六丁目2804	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
南入曾	羽黒山 秩父 湯殿山 坂東 拝礼供養塔 月山 西国	慶応二丙寅年二月	1866	A2	○		金剛院裏	『狭山市史 民俗編』
三ヶ島	月山 湯殿山供養塔 羽黒山	慶応三丁卯歲冬十月十五日	1867	A1		146×36	妙善院参道	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
水野	羽黒山 秩父 湯殿山 坂東 拝礼供養塔 月山 西国	明治七甲戌三月吉日	1874	A2	○		宮岡信治宅	『狭山市史 民俗編』
吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西国 坂東 秩父 百番供養塔	明治八乙亥第一月良辰	1875	A1	○	173×33	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
宮寺坊	月山 湯殿山 羽黒山	明治十八酉十月日	1885	A1		55×28×9		『入間市史 中世資料・金石文編』
青柳	(右面) 羽黒山 富士獄神社 月山 立山神社 湯殿山 黄金山神社 (正面) 百番観世音供養塔	明治二十六年癸巳九月	1893	B2	○		新屋敷バス停付近三叉路	『狭山市史 民俗編』
下奥富	月山 湯殿山百番供養塔 羽黒山	明治三十二年十二月廿日	1899	A1	○		栗原伝次宅前	『狭山市史 民俗編』
下奥富	羽黒山 月山 百番供養塔 湯殿山	明治参拾五年三月廿日	1902	B2	○		奥富神社	『狭山市史 民俗編』
吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西国 坂東 秩父 百番拝禮塔	明治三十八乙三年四月良辰	1905	A1	○	140×33	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
山口	羽黒山 西国 秩父 月山 百番供養塔 湯殿山 坂東 狭山	大正九庚申年七月吉日	1920	B2	○	301×85	仏蔵院門前	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
入間川	湯殿山 大日本百八十八所 月山 (墓石)	昭和四年九月	1929	B1	○		慈眼寺	『狭山市史 民俗編』

吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西 国 坂 東 秩 父 百番拝禮塔	昭和四十乙巳年十月良辰	1965	A1	○	150×34	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
大袋新田	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 観世音百番供養塔 (左面) 立山大権現	(不明)		A1	○		福昌寺入口	『川越の石佛』
水野	月山西国坂東 湯殿山百番供養塔 羽黒山 秩父	(不明)		A1	○		広沢恒三宅	『狭山市史 民俗編』

【表2-1】岩手県(旧南部藩)

地区	碑 銘	建立年月日	西暦	並び方	規格(高×幅×厚)	備考	出典
湯沢	鳥海山 羽黒山 湯殿山 月山 雲山	寛政六年六月二十日	1794	C3		上湯沢公民館前	「都南の石碑」
藤根	湯殿山 羽黒山 月山 鳥海山 金花山	文化二年七月八日	1805	B2		藤根寺	「和賀町の石造文化財」
北方丁目	湯殿大権現 羽黒山 鳥海山	文化六己巳年八月二十八日	1809	A1	99×81	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
大畑	鳥海山 庚申 湯殿山 神社 羽黒山 申 秋 葉山	文化七午天五月七日	1810	A1			「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
大更下町	岩鷲山 湯殿山 不動明王	文化十二年四月八日	1815	A	76	八坂神社前	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
我生	湯殿山大権現 庚申 供養塔 鳥海山大権現	文政二己卯歳三月廿八日	1819	A			「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
上似内	庚申供養塔 湯殿山大権現 鳥海山大権現	文政二己卯歳三月二十八日	1819	A	111×140	八坂神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
槻本	庚申 月山 湯殿山 羽黒山 鳥海山	文政四辛巳年	1821	A1			「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
台	湯殿山・鳥海山	文政五壬午天四月八日	1822	A	91×75	羽山神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
葛	湯殿三社 熊野三社	文政七己申年四月初八日	1824	A	145×104	諏訪神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
大更下町	湯殿三山 巖鷲山 鳥海山	文政七年十月八日	1824	A	133×280×50	八坂神社前	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
二枚橋	羽山 塔 庚申	文政八乙酉年	1825	E			「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
下似内	鳥海山 湯殿山・月山 羽黒山	文政九丙戌八月八日	1826	A1	92×87	羽黒稲荷門前	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
江釣子	象頭山 羽黒山 月山 湯殿山 富士山	文政九丙戌年三月十日	1826	B2	103×85		「江釣子村石碑分布調査報告」
盛岡	金毘羅大権現 湯殿山大権現 岩鷲山大権現	天保二辛卯年八月吉日	1831	A	170×150	下太田田中 吉田新市郎	「盛岡市文化財調査報告書第24集 盛岡市所在 古碑調査報告書」
麦沢	湯殿山社宮 金毘羅山宮	天保六年三月吉日	1835	A	121×102×20	荒屋敷	「種市の文化財(Ⅱ)」
大更中閤	湯殿三山・巖鷲山・玉東山	天保十四年五月十八日	1843	A	105×110×15	駒形神社	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
後藤	湯殿山 月山 羽黒山 鳥海山	嘉永元年九月八日	1848	B1		菊池万太郎宅西	「和賀町の石造文化財」
盛岡	岩鷲山 湯殿三山 岩木山	嘉永四辛亥年三月吉日	1851	A	271×230	山岸一丁目	「盛岡市文化財調査報告書第24集 盛岡市所在 古碑調査報告書」
平館堀切	湯殿三山 巖鷲山 鳥海山	安政五年四月初八日	1858	A	105×86×33	堀切神社入口	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
大更松川	湯殿三山 巖鷲山 金毘羅山	万延二	1861	A	153×120×20	高橋弥蔵宅横	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
台	月山 湯殿山 羽黒山 鳥海山	文久三亥十月八日	1863	A1	132×169	羽山神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
寺田川原目	湯殿三山 鳥海山 玉東山	元治二年四月八日	1865	A	120×120×40	津志耕次郎宅前	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
田頭町組	鳥海山 湯殿山 巖鷲山	慶応二年四月八日	1866	A	193×250×17	旧村社・稲荷神社	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
下飯岡	鳥海山 湯殿三山 岩鷲山	慶応四戊辰年四月四日	1868	A		下久根福島耕也	「都南の石碑」
葛	月山 羽黒山 湯殿山 鳥海山	明治六癸酉年八月八日	1873	A1	133×127	諏訪神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
大更北切	湯殿三山 鳥海山 巖鷲山	明治十三年十月	1880	A	66×73×24	森栄宅脇	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
下飯岡	鳥海山 湯殿山 岩手山	明治十四己巳年四月八日	1881	A		浅沼嘉兵衛	「都南の石碑」
下飯岡	鳥海山 湯殿三山 岩手山 早池峰山	明治十四己巳年□□□	1881	A		田中 熊野神社跡	「都南の石碑」
糠塚	鳥海山 湯殿山 金華山	明治十五壬午年八月八日	1882	A	144×150	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
羽場	鳥海山 湯殿山 岩手山	明治十六年□□□	1883	A		上羽場公民館前	「都南の石碑」

湯沢	鳥海山 湯殿三山 金華山	明治二十二年四月八日	1889	A		上湯沢熊谷仁	「都南の石碑」
手代森	月山 湯殿山 羽黒山	明治二十三年二月八日	1890	B3		平子勝吉稲荷神社	「都南の石碑」
湯沢	岩 鷲 山 湯殿三山 鳥海山	明治二十三年四月八日	1890	A		上湯沢公民館前	「都南の石碑」
寺田 荒木田	湯殿山神社・岩手山神社・金 毘羅神社	明治二十六年六月八日	1893	A	95×55×18	伝・竜松寺跡 中村 種吉宅地内	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
上羽場	鳥海山 湯殿山 岩手山	明治三十六年四月口	1903	A		公民館前	「都南の石碑」
新田	月 三 山 鳥海山 金華山	明治四十二年八月十五日	1909	B	133×93	愛宕神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
鍋倉	鳥海山 湯殿三山 金華山	明治四十二年旧六月二十五 日	1909	A	87×120	春日神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
西宮野目	鳥海山 湯殿三山 金華山	明治四十四年	1911	A	73×71	八坂神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
北万丁目	月 三 山 鳥海山 金華山	大正二年八月二十九日	1913	B	74×80	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
新田	月 三 山 鳥海山 金華山	大正二年十月八日	1913	B	81×70	愛宕神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
鍋倉	月 三 山 鳥海山 金華山	大正二癸丑六月二十五日口	1913	B	102×103	春日神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
上根子	湯殿三山 鳥海山	大正二年八月十五日	1913	A	104×70	熊野神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
中根子	八月十一日 湯殿三山 八月七日 鳥海山 八月十四日 金華山	大正二丑年八月	1913	A	98×60	子安地藏境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
小瀬川	月 三 山 鳥海山 金華山	大正二丑年七月	1913	B	258×93	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
湯沢	鳥海山 湯殿三山 金華山	大正三年四月八日	1914	A		上湯沢熊谷仁	「都南の石碑」
玉山	湯殿山 月山 天照大神 羽黒山 二十三夜	大正四年	1915	B1	178×175	大字芋田字芋田	「玉山村の保存樹 玉山村の 石碑」
葛	月 三 山 鳥海山 金華山	大正五辰年正月八日	1916	B	123×55	上ノ山路傍	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
浅沢	月 三 山 鳥海山	大正六年六月二十九日	1917	B	77×80	鳥海神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
北万丁目	月 三 山 鳥海山 金華山	大正七年七月十九日	1918	B	76×64	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
栃内	月 三 山 鳥海山 金華山	大正七年七月十七日	1918	B	77×78	上人塚路傍	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
鍋倉	月 三 山 鳥海山 金華山	大正七年七月一日	1918	B	80×84	春日神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
鍋倉	月 三 山 鳥海山 金華山	大正八年七月十八日	1919	B	96×102	春日神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
鍋倉	月 三 山 鳥海山 金華山	大正九年六月二十九日	1920	B	108×84	春日神社境内	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
大畑	月 三 山 鳥海山 金華山	大正九年三月八日	1920	B	298×96	路傍	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
滝沢	出羽三山 岩手山 鳥海山 金山	大正十二年旧十二月二十三 日	1923	D1	130×60×25	里	「種市の文化財(Ⅱ)」
上諏訪	鳥海山 月三山 金華山	大正十四年十月十七日	1925	B	213×77	諏訪神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
桜町 三丁目	鳥海山 湯殿三山 金華山	大正十四年七月三日出発	1925	A		瀧清水神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
里川口	月 三 山 鳥海山 金華山	大正十四年八月十四日	1925	B		観世音	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
山坂	月 三 山 鳥海山 金華山	大正十四年六月八日	1925	B		愛宕神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
北万丁目	月 三 山 鳥海山 金華山	大正十四年八月	1925	B	175×71	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」
新田	月 三 山 鳥海山 金華山	大正十四年七月十日	1925	B	169×86	愛宕神社	「花巻市文化財調査報告書第 6・7・8・24集」

中根子	月山・鳥海山・金華山	大正十四年八月一日	1925	B	198×71	子安地藏境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
上根子	月山三社 金華山	大正十五年八月一日	1926	B	294×88	熊野神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
糠塚	月三 鳥海山 金華山	昭和五十五年旧六月	1930	B	163×81	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
上似内	鳥海山・月三山登拝の碑	昭和五年八月十五日	1930	B	101×55	八坂神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
江釣子	鳥海 月三 金華	昭和七年七月十五日	1932	B	60×41		「江釣子村石碑分布調査報告」
田力	月三山・鳥海山	昭和十二年八月	1937	B	79×86	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
桜町三丁目	鳥海山 月三 金華山	昭和十五年	1940	B		瀧清水神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
桜町三丁目	鳥海山 月三 金華山	昭和二十四年八月	1949	B		瀧清水神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
北万丁目	鳥海山 月三 金華山	昭和二十四年七月三十日	1949	B	148×59	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
桜町三丁目	鳥海山 出羽三山 金華山	昭和三十一年	1956	D1		瀧清水神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
北万丁目	羽黒山 鳥海山 月山 湯殿山	昭和三十六年八月	1961	C1	210×92	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
田力	月三山・鳥海山	昭和三十六年八月	1961	B	90×46	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
上似内	月三山・鳥海山	昭和三十六年七月	1961	B	100×58	八坂神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
北万丁目	羽黒山 鳥海山 月山 湯殿山	昭和四十八年七月二十日	1973	C1	189×83	八坂神社	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
下飯岡	巖鷲山 金毘羅大権現 湯殿山	大正辛卯歳七月口日	(不明)	A		熊野神社	「都南の石碑」
田頭館腰	岩鷲山 湯殿山三山 鳥海山 供養	弘化四年二月八日	1847	A	158×83×27	加藤鶴蔵	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
狼沢	鳥海山 湯殿三山 金華山	大正十二年旧八月八日	1923	A	165×69	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
膝立	月三山 鳥海山	大正十二年七月十五日	1923	B	122×73	上戸藤公民館	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
田力	月三山・鳥海山	大正一五年八月登拝 昭和三十年八月登拝	1926 1955	B	50×90	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
田力	月三山・鳥海山	昭和四十五年建立 昭和二十四年八月登拝	1970 1949	B	138×81	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
糠塚	庚申山 湯殿山大権現 羽黒山 鳥海山	(不明)		A1			「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
糠塚	庚申山 湯殿山大権現 羽黒山 鳥海山	(不明)		A1	120×104	稲荷神社境内	「花巻市文化財調査報告書第6・7・8・24集」
大更両沼	湯殿三山・秋葉山・不動尊	(不明)		A	120×104×54	松尾神社	「西根町史編さん報告書第2集 西根町の石造文化財」
江釣子	出羽山 金華山 月山 鳥渡山 湯殿山 金華山	(不明)		B2	210×96		「江釣子村石碑分布調査報告」

【表2-2】岩手県(旧仙台湾)

地区	碑 銘	建立年月日	西暦	並び方	規格(高×幅×厚)	備考	出典
梁川	大峯山 金毘口 奉供養塔 羽黒山	文化二丑年□□九月有十日	1805	C		菊久商店前石碑群	「柳川の石碑」
上奥玉 一関領 宿下	月山 湯殿大権現 羽黒 一宮大明神	文化十三丙子年秋涼吉日	1816	A1	103×90	小学校校門前	「千厩町の古碑」
梁川	大峯山 金毘羅 羽黒山	文化十四年七月十日	1817	C	143×99×32	菊久商店前石碑群	「柳川の石碑」
柳川	湯殿 月山口 金峯	文政四 九月	1821	A2	65×79×26	八掛門前下	「柳川の石碑」
上永沢	(梵字)羽黒三山 (梵字)西国三十三ヶ所 (梵字)太神宮 金毘羅碑	文政八年四月十日	1825	C	63×36	永沢字一ノ越戸	「金ヶ崎町文化財報告書第14集」
梁川	羽黒山大権現 白山大権現 妙見大菩薩	弘化貳乃年九月二十九日	1845	C	100×90×30	市道白山様鳥居下	「柳川の石碑」
清水端	金華山 湯殿三山 秋葉山大権現	嘉永三年九月十九日	1850	A	90×74	三ヶ尻字清水端	「金ヶ崎町文化財報告書第14集」
下平沢	金華山 湯殿三山 秋葉山	嘉永七年十一月四日	1854	A	79×65	西根字横街道	「金ヶ崎町文化財報告書第14集」
猿沢	湯殿三山神社 金華山神社 金剛山神社	明治十九年十月十五日	1886	A		大久保	「大東町の古碑」
中大桑	鳥海山神社 湯殿 月山 出羽山神社	大正八年十月十日	1919	A1		三島神社境内	「阿部四郎『萩荘の石碑について』」
柳川	月 羽黒山神社 山 湯殿山神社 大 鳥海山神社 神 巖手山神社 早池峰山神社	大正九年十二月十五日	1920	B2	77×50×12	多田宏家下	「柳川の石碑」
中沢	八聖山 出羽山 月山 鳥海山 湯殿山 金峰山 三 山	大正九稔七月十五日	1920	B2	260×190×70	鳥居前	「米里の石造文化財」
檜原	鳥海山 大先導供養	大正十四年乙丑七月一日建之	1925	D	175×41×25	藤原祐男宅裏山林	「衣川村石碑・石造調査報告書」
五区	鳥海山 羽黒山 山 月 湯殿山	大正十四己丑年六月参拝記念	1925	B2	108×150×30	熊野神社境内	「陸前高田の石碑」
小山	月山 鳥海山 羽黒山 湯殿山	昭和四年九月11日	1929	B2		昼檀 羽藤栄喜氏宅内	「胆沢町文化財報告書第10集」
二区	鳥海山 羽黒山 月 山 湯殿山	昭和四十九年十二月吉日建立	1974	B2	164×80×55	八幡神社境内	「陸前高田の石碑」
要害	月山三神社 鳥海山神社 湯殿 出羽	七月十五日		A1		春日神社境内	「阿部四郎『萩荘の石碑について』」
千厩 東小田	湯殿山大神 金毘羅山大神	不明		A		県道端	「千厩町の古碑」

【表2-3】宮城県

地区	碑 銘	建立年月日(年号)	西暦	並び方	規格(高さ×幅)	所在地・備考	出典
豊里	月山 湯殿山 鳥海山 供養塔 羽黒山	寛政六年十月十五日	1794	A1			『豊里町史 下巻』
川原崎	鳥海 湯殿 金峯 三山供養	文化元甲子年八月吉祥日	1804	A		毘沙門堂	『気仙沼市史Ⅷ 資料編』
今宿	湯殿山・蔵王大権現	文化五年	1808	A	67×55	逆銀杏	『川崎町の文化財第7集』
白川	金華山弁才天 天照皇太神宮 湯殿山大権現	嘉永四辛亥歳三月吉祥日	1851	A		津田寺下	『白石市文化財調査報告書第13集 道ばたの碑』
下戸沢	湯殿山 秋葉山 火防供養	嘉永五年歳次壬子八月吉日	1852	A			『白石市文化財調査報告書第13集 道ばたの碑』
古町	出羽三山 鳥海山 千人講供養之碑	大正八己未年十月十日	1919	D2		松川旅館	『気仙沼市史Ⅷ 資料編』
豊里	羽黒山 月山 鳥海山 湯殿山	昭和七年旧四月八日	1932	B2			『豊里町史 下巻』

【表2-4】茨城県

地区名	碑 銘	建立年月日	西暦	並び方	規格(高×幅×厚)	所在地	出典
田木谷	月山 湯殿山四国西国秩父坂東供養塔	文政二己卯年七月日	1819	A1	120×45×45	田木谷字吉野道路脇	『玉里村の石仏たち』
寺原	月山 秩父 普門品 湯殿山 西国 羽黒山 坂東 百万遍	嘉永二年霜月吉日	1849	A1		金山神社	『取手市史 石造遺物編』
井野	月山 秩父 湯殿山 巡拝塔 羽黒山 西国	嘉永四年二月	1851	A1		青柳東第一公民館	『取手市史 石造遺物編』
稲戸井	月山 湯殿山西国秩父坂東供養塔 羽黒山	嘉永五年八月	1852	A1		神明神社	『取手市史 石造遺物編』
取手	月山 西国 湯殿山 秩父 巡拝塔 羽黒山 坂東	元治元年九月	1864	A1		薬師堂	『取手市史 石造遺物編』
井野	湯殿山 四国 巡拝 月山 西国 供養塔 羽黒山 坂東 秩父	明治十年三月	1877	B1		平本家墓地	『取手市史 石造遺物編』
上平柳	湯殿山秩父三十四所 月山 西国三十三所供養塔 羽黒山坂東三十三所	明治三十三年五月六日	1900	B1		路傍	『伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書(下)』
寺原	月山 湯殿山西国秩父坂東供養塔 羽黒山	明治三十六年十月	1903	A1		寺田成沖共同墓地	『取手市史 石造遺物編』
取手	月山 秩父 湯殿山 西国 供養塔 羽黒山 坂東 四国八十八ヶ所	明治四十年九月	1907	A1		長禅寺	『取手市史 石造遺物編』
谷井田	湯殿山秩父 月山西国百番供養塔 羽黒山坂東	明治四十一年旧九月八日	1908	B1		外記新田薬師堂・外記新田公民館	『伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書(下)』
稲戸井	月山 湯殿山西国秩父坂東供養塔 羽黒山	大正二年三月十六日	1913	A1		龍禅寺	『取手市史 石造遺物編』
谷井田	(上部) 湯殿山 月山 出羽山 (下部) 四国八十八ヶ所西国秩父 坂東百番観世音巡拝記念	大正五年三月	1916	B1		個人宅	『伊奈の石仏・石塔－伊奈町金石文調査報告書(下)』
小文間	羽黒山 秩父 奉巡拝 月山 西国 百番供養塔 湯殿山 坂東 八十八ヶ所	大正五年十一月吉日	1916	B2		共同墓地	『取手市史 石造遺物編』
稲戸井	国幣羽黒山神社 官幣月山神社西国秩父坂東 巡拝供養塔 国幣湯殿山神社	大正八年十月吉日	1919	B2		永蔵寺	『取手市史 石造遺物編』
寺原	月山 秩父 湯殿山 西国 供養塔 羽黒山 坂東			A1		東漸寺	『取手市史 石造遺物編』
寺原	月山 湯殿山秩父坂東西国巡拝 塔 羽黒山			A1		寺田成沖共同墓地	『取手市史 石造遺物編』

【表2-5】 埼玉県

地区	碑 銘	建立年月日(年号)	西暦	並び方	規格(高さ×幅)	所在地・備考	出典
三ヶ島	月山 秩父三拾四番 湯殿山 西国三拾三番 羽黒山 坂東三拾三番	文化四丁卯年十月	1807	A1	98×36	稲荷神社裏	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
野田	西国坂東秩父百番霊場 湯殿山月山羽黒山供養塔	文政二龍集己卯孟夏穀旦	1819	A3			『入間市史 中世資料・金石 文編』
三ヶ島	羽黒山 天下泰平 湯殿山 西国秩父坂東百番供 養塔 月山 日月清明	文政七甲申年四月吉日	1824	A2	85×30	東狭山ヶ丘六町 目718	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
山口	(正面) 百番供養 (左面) 月山 湯殿山 羽黒山	文政八乙酉季二月吉日	1825	A1	126×38	仏蔵院	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
南入曽	(右面) 西国 坂東 百番供養塔 秩父 (正面) 羽黒 湯殿山 三山供養塔 月山 (左面) 富士 浅間 三山供養塔 立山	文政十一戊子年吉祥日	1828	A1		金剛院	『狭山市史 民俗編』
上広瀬	湯殿山 西国 月山 秩父 巡拝供養塔 羽黒山 坂東	天保二年龍舎辛卯春吉祥日	1831	B1		富士浅間	『狭山市史 民俗編』
上広瀬	四国 湯殿山 秩父 巡拝供養塔 羽黒山 坂東	天保十一庚子年孟春吉日	1840	A1		富士浅間	『狭山市史 民俗編』
入間川	(右面) 富士山浅間山戸隠御裏山立 山金花山筑波山 湯殿山月山羽黒山加納山登 山記 (正面) 奉拝百番供養塔	天保十一庚子年二月吉日	1840	A3		慈眼寺	『狭山市史 民俗編』
柏原	月山 秩父 供 湯殿山 西国 養 羽黒山 坂東 塔	天保十五甲辰年六月吉日	1844	A1		益田一利宅	『狭山市史 民俗編』
小谷田	天下泰平 月山 秩父 湯殿山 西国 光明真言百萬遍供養 羽黒 坂東 大山三十三度 国家安穩	弘化二乙巳年八月日	1845	A1	109×37×23	大橋西	『入間市史 中世資料・金石 文編』
笠幡	月山 秩父 湯殿山 坂東 供養塔 羽黒山 西国	弘化三〇〇〇	1846	A1		三叉路	『川越の石佛』
高倉	羽黒山 湯殿山 百番供養塔 月山	弘化四龍次	1847	A2	69×26×18	長坂	『入間市史 中世資料・金石 文編』
水野	月山 西国坂東 湯殿山 百番供養塔 羽黒山 秩父	嘉永二酉年七月	1849	A1		橋本要作宅裏	『狭山市史 民俗編』
水野	四国八十八方所 湯殿山月山羽黒山各供養塔 西国秩父坂東百番	嘉永四辛亥年二月	1851	A3		牛窪勝長宅	『狭山市史 民俗編』
堀兼	月山 湯殿山百番供養塔 羽黒山	嘉永七庚寅年正月吉日	1854	A1		堀兼神社	『狭山市史 民俗編』
山口	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 百ヶ所霊塔	安政二乙卯年十月吉祥日	1855	A1	174×42	仏蔵院門前	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
北入曽	天下泰平 奉 月山西国坂東秩父百番 納 湯殿山 供養塔 経 羽黒山新四国八十八番 五穀成就	文久二壬戌八月吉祥日	1862	A1		小川茂穂宅内	『狭山市史 民俗編』
三ヶ島	月山 秩父 湯殿山 立山 坂東百番供養塔 羽黒山 西国	元治二年旃蒙歲	1865	A1	122×29	東狭山ヶ丘六丁 目2804	『所沢市石造物調査報告書2 三ヶ島の石造物』
南入曽	羽黒 秩父 湯殿山 坂東 拝礼供養塔 月山 西国	慶応二丙寅年二月	1866	A2		金剛院裏	『狭山市史 民俗編』

水野	羽黒山 秩父 湯殿山 坂東拝礼供養塔 月山 西国	明治七甲戌三月吉日	1874	A2		宮岡信治宅	『狭山市史 民俗編』
吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西国 坂東 秩父 百番供養塔	明治八乙亥第一月良辰	1875	A1	173×33	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
青柳	(右面) 羽黒山 富士嶽神社 月山 立山神社 湯殿山 黄金山神社 (正面) 百番観世音供養塔	明治二十六年癸巳九月	1893	B2		新屋敷バス停付 近三叉路	『狭山市史 民俗編』
下奥富	月山 湯殿山 百番供養塔 羽黒山	明治三十二年十二月廿日	1899	A1		栗原伝次宅前	『狭山市史 民俗編』
下奥富	羽黒山 月山 百番供養塔 湯殿山	明治参拾五年三月廿日	1902	B2		奥富神社	『狭山市史 民俗編』
吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西国 坂東 秩父 百番拝禮塔	明治三十八乙三年四月良辰	1905	A1	140×33	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
山口	羽黒山 西国 秩父 月山 百番供養塔 湯殿山 坂東 狭山	大正九庚申年七月吉日	1920	B2	301×85	仏蔵院門前	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
入間川	湯殿山 大日本百八十八所 月山 (墓石)	昭和四年九月	1929	B1		慈眼寺	『狭山市史 民俗編』
吾妻	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 西国 坂東 秩父 百番拝禮塔	昭和四十乙巳年十月良辰	1965	A1	150×34	中村宅	『所沢市石造物調査報告書4 山口・吾妻の石造物』
大袋新田	(右面) 月山 湯殿山 羽黒山 (正面) 観世音百番供養塔 (左面) 立山大権現	(不明)		A1		福昌寺入口	『川越の石佛』
水野	月山 西国 坂東 湯殿山 百番供養塔 羽黒山 秩父	(不明)		A1		広沢恒三宅	『狭山市史 民俗編』

【表4】 併刻信仰一覧

併刻信仰	現所在地
西国三十三所巡礼	
秩父三十三所巡礼	
坂東三十四所巡礼	
四国八十八ヶ所	
百番供養	
新四国八十八ヶ所	
妙見大菩薩	
不動尊	
天照大皇大神	
塩竈神社／一宮大明神	宮城県
香取神社	千葉県
鹿島神社／鹿島大神	茨城県
東叡山寛永寺	東京都
善光寺	長野県
金毘羅宮／金毘羅大神	香川県
春日大社／春日大神	奈良県
出雲大社	島根県
伊勢神宮	三重県
八幡神社	(神奈川県か?)
庚申	
二十三夜	
岩木山	青森県
岩手山／岩鷲山／巖鷲山	岩手県
玉東山(＝姫神山)	岩手県
早池峰山	岩手県
金華山／金花山／黄金山神社	宮城県
蔵王山／蔵王大権現／	宮城県
七峰山	宮城県
鳥海山	山形県
八聖山	山形県
米山	新潟県
白山	石川県／岐阜県
立山	富山県
筑波山	茨城県
三峰山	埼玉県
狭山	埼玉県
成田山	千葉県
鹿能山／加納山(＝鹿野山)	千葉県
高尾山	東京都
日光山(＝男体山)	栃木県
大山／阿夫利神社	神奈川県
身延山	山梨県
榛名山	群馬県
妙義山	群馬県
秋葉山	静岡県
富士山	静岡県／山梨県
御嶽山	長野県
戸隠山	長野県
浅間山	長野県／群馬県
高野山	和歌山県
愛宕山	京都府
大峰山	奈良県
吉野山	奈良県
金峯山	奈良県
金剛山	奈良県
象頭山／像頭山(＝琴平山)	香川県
叡山	?
大沼山	?

()内は現在の名称

(表2より作成)

【表3】 出羽三山塔集計表

	出羽三山塔総数	併刻塔	出羽三山塔に占める併刻塔の割合(%)
秋田県	6	0	0%
岩手県(旧藩部藩)	355	86	24%
岩手県(旧仙台藩)	170	18	11%
宮城県	180	7	4%
茨城県	56	16	29%
埼玉県	41	30	73%
千葉県	502	97	19%
東京都	33	17	52%
神奈川県	91	35	38%
合計	1434	306	21%

(表1・2より作成)